

# 平成14年度定期総会

## 総務委員会

東北地質調査業協会の平成14年度定期総会は、平成14年5月30日(木)に仙台市内の「ホテル白萩」に於いて開催されました。会員総数99社の内、出席67社と委任状32社で過半数以上の出席が得られ、ここに総会は成立を致しました。

定期総会は平成13年度の事業活動と収支報告、及び平成14年度の事業計画案と予算案の審議が主な内容であり、以下に概要を報告致します。



### 1. 宮川理事長挨拶

国土交通省で実施している建設関連業の受注状況調査で、地質調査業の平成13年度対前年比はマイナス14.9%となっている。

このような社会情勢が厳しい中で、(社)全国地質調査業協会連合会では「地質調査業の21世紀ビジョン」を作成し、今後の協会会員の進むべき方策を提示している。

当協会でも、このような社会情勢に対応した協会のあり方を検討し、次のような改善・改革を行ってきた。

＜会員会費の一律10%削減・協会組織の見直しで委員会の統廃合(7委員会→4委員会)とメンバーの交替・

IT化社会への適切な対応・外部へのPRとして国土交通省との意見交換会やホームページの開設・会員相互の親睦と各地区との連携＞

今後も、会員各位の協力を得て、協会発展に尽力していきたい。

### 2. 新入会員の紹介

(株)鹿渡工業 鎌田専務の挨拶

### 3. 議事

議長：宮川理事長

議事録署名人：(株)日さく仙台支店  
支店長 大西吉一氏  
(株)ダイヤコンサルタント東北支社  
営業部長 谷藤直貴氏

#### (1) 平成13年度事業報告

「全国地質調査業協会連合会に関する事項」、東北地方整備局との意見交換会等の「対外関係に関する事項」については事務局が報告し、「東北地質調査業協会に関する事項」については担当の各委員長が報告を行い、承認された。

#### (2) 平成13年度収支決算及び監査報告

収支決算を事務局が、監査結果を監事が報告して、承認された。

#### (3) 平成14年度事業計画(案)

事業計画は、新組織による総務・技術・広報・情報化の各委員長が計画を報告した。

#### (4) 平成14年度収支予算(案)

総額51,500千円の予算案を事務局が報告し、承認された。平成13年度の決算額は56,195千円であり、4,700千円減の緊縮予算である。



### (5) 規約改正(案)

規約改正の主な内容は以下の通りであり、承認された。

- ・理事会開催の明文化
- ・総会及び理事会における代理人出席の記述変更(内容は不変)
- ・委員任期の明文化

### (6) その他

会員からの要望として、総会資料の事前配布が提案された。事務局からは、前向きに対応する趣旨の発言があり、今後検討していく必要があるものと思われる。

以上、定期総会の概要を記したが、総会終了後に各種委員会等の協会活動に尽力された次の方々表彰されました。

石川正夫	東北ボーリング(株)
佐竹道郎	(株)復建技術コンサルタント
佐藤吉伸	明治コンサルタント(株) 仙台支店
舘内孝志	梶谷エンジニア(株)東北支店
安彦宏人	日本地下水開発(株)
遠藤宏行	東北ボーリング(株)
渡辺 光	大成基礎設計(株)東北支社
小野 寿	元(株)東建ジオテック東北支店
千田盛男	基礎地盤コンサルタンツ(株) 東北支社
松山正平	土木地質(株)

総会終了後には、懇親会が席を移して和やかに開催された。宮川理事長挨拶の後、土生田副理事長の乾杯発声で宴会となり、功労表彰者を代表して佐竹氏が挨拶を行った。最後は奥山(和)理事の万歳三唱で締めとなりました。



協会活動功労者表彰